



GOVERNOR'S Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

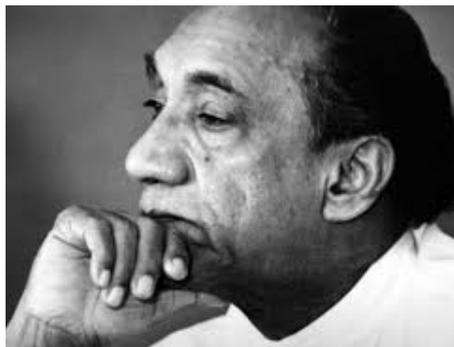
November 2020
No.5

11

ガバナー 野生司 義光

■サンフランシスコ講和会議の時、日本を 分割占領から救った、スリランカ代表の「愛」の演説

1951年に開かれた、日本の運命を左右する「サンフランシスコ講和会議」。その席上、日本を分割占領から救ってくれたのが、当時スリランカ代表を務めていたジュニアス・リチャード・ジャヤワルダナ氏であった事を日本人のどのくらいの人知っているでしょうか。



サンフランシスコ講和会議は、日本が第二次世界大戦で敗戦した折、51か国からの代表が集まって、日本との講和条約を結び、日本の独立を認めるかどうかを議論する場であった。米国が中心となって、日本の独立を認める講和条約案がまとめられていたが、ソ連は日本の主権を制限する対案を提出し、さらに中国共産党の出席を求めたりして、審議引き延ばしを図っていた。

ジャヤワルダナ代表は、自らスリランカ代表であるが、「日本の将来に対するアジアの人々の全般的態度における彼らの感情をものべたい。」として、特に強い意志を持って、こう語った。

「自由であるべき」とは、日本の占領を解いて、独立を回復させるべき、という意味である。

講和条約への賛成を表明した後、ジャヤワルダナ代表はその理由を述べた。

「共栄のスローガン」とは、日本が大戦中に唱えた「大東亜共栄圏」のことであり、実際に欧米諸国の植民地支配から独立を目指す国々の代表が東京に集まって、「大東亜会議」が開催されている。



さらにビルマ、インド、インドネシアでは、日本が支援して設立された独立軍が、これらの国々の独立戦争に大きな役割を果たした。

ジャヤワルダナ代表は、日本に対する賠償請求権を放棄する、と続け、その理由として、仏陀の「憎悪は憎悪によって消え去るものではなく、ただ愛によってのみ消え去るものである」と説いた。ジャヤワルダナの演説が終わると、賞賛の声の嵐で会場の窓のガラスが割れるほどであったと「サンフランシスコ・ニュース」は報じている。また、「サンフランシスコ・エクザミネー」紙は「褐色のハンサムな外交官が、セイロンよりやって来て、世に忘れ去られようとしていた国家間の礼節と寛容を声高く説き、鋭い理論でソ連の戦略を打ち破った」と評した。

この後、ソ連、ポーランド、チェコスロバキアを除く49か国が講和条約に署名し、翌年4月28日、日本は独立を回復したのだった。

スリランカの事を我々は良く知りません。スリランカ憲法第9条には、仏教に「第一の地位」を与えると明記されている偉大な仏教国なのです。スリランカのために、グローバル補助金が使えないのでしょうか。今後の課題です。

コロナ禍を乗り越えて楽しく有意義な例会 ガバナー訪問例会から事例を探る

2020～21年度は、その準備期間である2020年3～6月が新型コロナウイルス（Covid-19）感染症への対応として、多くのクラブが例会を休会にする中で出発しました。年度が始まって通常形で例会を開くことができず、それぞれのクラブで工夫を凝らした、新しい形の例会が開催されています。

そんな中、年度が始まってすぐの7月13日、東京池袋西RCからガバナー公式訪問が始まりました。今回はそれに随行した地区幹事、地区副幹事に各クラブの工夫のようすを語って貰いました。

なおこの座談会中、スペースの関係でクラブ名は東京を除いた略称を使っていることをご了承下さい。

司会：地区幹事の谷一さんと副幹事の皆さんはガバナーに随行して、地区内の各クラブの例会に参加していますが、現在までの訪問クラブでの例会やクラブ協議会の開催方法を紹介していただくことで、このコロナ禍の中で感染を防ぎながら楽しく有意義な例会を開く方法や、感染を恐れて欠席している会員への対応、ひいては退会防止の秘訣などを共有したいと思っています。まだクラブ訪問も半数に至っていません（9月17日現在）が、皆さんの訪問先クラブでの工夫の様子をお話し下さい。

山本：私は武蔵村山RCと東村山RCに随行しました。こちら両方ともスクール形式です。やはり検温とアルコール消毒が行われています。会場が武蔵村山が金融機関（西武信金）の会議室、東村山が八坂社の社務所ということで、ホテルのような対応はありませんが、クラブが自前で実施しています。

武蔵村山RCの例会の特徴は、例会に作業着で出席しても構わないとしていることです。仕事の途中でそのまま例会に参加できるわけです。またこのような社会の情勢なので、これまで以上に会員間の交流を図るため、夜間例会や炉辺会合を積極的に取り入れたいとおっしゃっていました。

東村山RCは、社務所が会場なので窓を開け放って換気を十分に行っています。

ガバナー訪問は来週なのですが、私の所属する福生RCでは、感染を恐れて出席できない会員も安心して例会に参加できるように、例会場にオンライン参加ができる設備を設けました。

高橋：私が随行したクラブのCovid-19対策は大きく分けて3つでした。スクール形式、広い会場、そしてオンラインです。



江戸川RCでは、ZOOMを使ったオンラインを併用してガバナー訪問例会開催。会場の後方にスマートホン置いてZOOM中継。



上野精養軒を会場にしたクラブ（葛飾RC・葛飾中央RC、江北RC）はスクール形式と円卓形式に分かれていましたが、いずれも十分なソーシャルディスタンスに留意した上で、スピーチ台にはビニールのパーティションがありました。

次は広い会場を使ってソーシャルディスタンスを十分にとる方法。東武ホテルレバント東京のクラブ（向島、臨海西、城東）がこれに相当します。クラブ協議会の会場もこの方式だったので、ロの字形のテーブルの反対側がものすごく遠い感じでした。

タワーホール船堀を会場とする江戸川RCはスクール、東江戸川RC・江戸川中央RCは円卓と分かれていましたが、いずれも広い会場を使って距離を十分に取っています。

江戸川RCはオンライン併用でガバナー訪問例会を開催しています。これはちょっと驚きました。

司会：ちなみに私の所属する池袋西RCですが、ソーシャルディスタンスを取るために、6月以降、休んでいた例会を再開するにあたって例会場を一時変更しています。本来の例会場の東武バンケットホールは、一杯に詰め込んで40人ぐらいの会場なので、会員数30名強の当クラブでは厳しい、ということで移動しました。

松村：小平RC・東久留米RCの合同ガバナー訪問例会に随行しました。両クラブが通常例会を開いている会場ではなく、体育館のような広い場所でスクール形式です。われわれ訪問側の席はステージの上に作られていて、ソーシャルディスタンスが十分、ロータリーソングも省略で、Covid-19対策は完璧でした。

しかし、ここに来て悲しい退会理由を聞くことがあります。高齢の方で、外出自粛がたたって足腰が弱くなってしま

まい、歩けないのでクラブを辞めるとの理由、これは引き留めにくいですね。

中川：私が随行したのは今日までに浅草中央RCと浅草RCの2カ所だけで、いずれも浅草ビューホテルが会場です。例会の方式は両クラブともテーブルをスクール形式に並べ、食事は弁当。ホテルなのでエントランスで検温と手指のアルコール消毒が行われています。

中島：所属クラブのワセダ RC は、中央分区の新宿 5 クラブに入るのですが、この 5 クラブ今日現在ワセダ RC 以外すべて例会中止でガバナー訪問が行われていません。その他にお茶の水 RC・丸の内 RC の合同例会、御苑 RC に随行しました。

ワセダ RC では感染対策として、例会をスクール形式にするだけでなく、点鐘前に来場者に逐次食事を提供して、食事時間をできるだけ分散するようにしています。分散することで会員同士が会話するときにマスクを着用できるよう工夫しています。

お茶の水 RC・丸の内 RC の合同例会は通常例会のお茶の水 RC に、丸の内 RC がオンライン参加する形です。丸の内 RC のクラブ協議会はリアル開催で、お茶の水 RC とは別会場でした。

お茶の水 RC はオンライン運営に積極的で、今後オンライン会員という新しい会員資格を設けて増強するという方針のようです。

御苑 RC では、テーブル同士の間隔を空ける程度で通常の例会を開いていました。それでも例会の出席率は高かったですね。

谷一：東、臨海・臨海東、板橋・板橋セントラル、東京、青梅、葛飾東、小石川・後楽の各ロータリークラブに随行しました。青梅と葛飾東以外はすべて大きなホテルなので、入口で検温、アルコール消毒はエントランスと会場入口の両方という感じで完璧ですね。

青梅 RC は現在青梅市内の御嶽神社が会場です。私が良い工夫だなと思ったのは、例会の食事(弁当)をロータリアンの会社から取り寄せていたことです。このような時期からこういう相互扶助は大切です。

葛飾東 RC は会員の経営する料亭で夜間例会です。通常の形の例会を開いていますが、会場が広いので十分なソーシャルディスタンスが取れていました。

司会：今日現在で 70 クラブ中 34 クラブ訪問と言う状態で、半分にも達していませんが、色々な例会の形が見えてきましたね。

中川：やっぱり一番の課題は食事ですね。どうしてもマスクを外すし、その状態で会話が弾むわけですから。だとすれば例会前に三々五々食事を取るワセダ RC のような形も参考になります。

私の所属する浅草 RC ではスクール形式だと会員同士の会話がありませんし、例会に出てくる楽しみがない、という不満の声もあるので、家庭集会(炉辺会合)を現在順次行っています。感染予防のためにいつもは夜間に行っているものを昼間に変え、人数も 5 人程度のグループにしています。やはりリアルに人と人が交流することがロータリーを支えています。

また、高齢会員の場合本人よりも、家族に引き留められ



上：葛飾・葛飾中央 RC 合同例会 (上野精養軒)



上：臨海・臨海東 RC 合同例会 (東武ホテルレバント東京) 下：武蔵村山 RC (西武信金村山支店) いずれのクラブも感染拡大防止に万全の注意を払っていることがわかる。



ることが多いので、浅草 RC では家庭集会や例会の開催方法についての理事会の審議過程を含めた決定事項を文書にして、会員に配布しています。少しでも安心して出席して貰うためです。おかげさまで出席率はかなり高くなってきています。

司会：Covid-19 が収束するのがいつになるか、まったく見通しは立ちませんが、その中でロータリー活動を継続して行くには、ロータリアン同士の繋がりを維持し続けることが大切なことを再確認しました。様々な方法が各クラブで工夫されていますが、今後に向けてこの奇禍をプラスに捉えて、新しい形のロータリー例会のあり方を見直すチャンスかも知れませんね。

本日は長時間ありがとうございました。

*座談会は 9 月 17 日に平井地区副幹事の司会で開催されました。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 6回 清本 正法 (東京武蔵野中央)
- 4回 北岡 修一 (東京新都心) 田中 清介 (東京江北)
- 3回 黒田 昌彦 (東京神田) 青木 宏義 (東京新都心)
- 青山 信之 (東京新都心) ヴァッタ ヴァバン (東京新都心)
- 半場 慎一 (東京新都心) 引地 正修 (東京新都心)
- 本多 良美 (東京新都心) 伊藤 道男 (東京新都心)
- 大瀧 一喜 (東京新都心) 山口 昭夫 (東京新都心)
- 加藤 和詳 (東京新都心) 豊田 祥明 (東京新都心)
- 深尾 一郎 (東京紀尾井町) 新村 敏明 (東京紀尾井町)
- 宗田 裕司 (東京紀尾井町) 手島 京子 (東京紀尾井町)
- 佐藤 徹 (東京江北) 守屋 裕之 (東京江北)
- 松田 賢基 (浦添)
- 2回 小河原 章博 (東京神田) 荻原 年 (東京神田)
- 楠田 智昭 (東京城北) 是枝 伸彦 (東京新都心)
- 佐原 且朗 (東京新都心) 佐々木 智 (東京新都心)
- 田中 久光 (浦添)
- 1回 亀田 光昭 (東京西北) 玉田 勝 (東京神田)
- 成田 茂之 (東京神田) 池田 竜郎 (東京城北)
- 杉山 剛正 (東京城北) 武田 哲一 (東京新宿)
- 石川 佳照 (東京新都心) 吉村 利文 (東京新都心)
- 秋山 寿郎 (東京新都心) 江守 英雄 (東京新都心)
- 萩生田富士喜 (東京新都心) 岩橋 一 (東京新都心)
- 伊豆 隆義 (東京新都心) 金田 哲夫 (東京新都心)
- 葛城 良二 (東京新都心) 川田 勝哉 (東京新都心)
- 川合 義彰 (東京新都心) 児玉 剛 (東京新都心)
- 児玉 譲 (東京新都心) 南 孝二 (東京新都心)
- 杉田 純 (東京新都心) 田口 文彦 (東京新都心)
- 平 将明 (東京新都心) 高橋 一博 (東京新都心)
- 江口 英彦 (東京紀尾井町) 江副 碧 (東京紀尾井町)
- 金井 繁晴 (東京紀尾井町) 小島 清治 (東京紀尾井町)
- 宮地 勝美 (東京紀尾井町) 中村 俊輔 (東京紀尾井町)
- 大西 太一郎 (東京紀尾井町) 渡邊 俊一 (東京紀尾井町)
- 影山 幸一郎 (東京江北)

ポール・ハリス・フェロー

- 藤井 隆太 (東京神田) 久保 和人 (東京神田)
- 荻原 弘幸 (東京神田) 矢島 新子 (東京神田)
- 山路 熟 (東京神田) 岡田 康宏 (東京城北)
- 藤枝 誠 (東京新都心) 深山 雅也 (東京新都心)
- 白坂 桂一 (東京新都心) 高木 征太郎 (東京新都心)
- 内川 晃一 (東京新都心) 吉成 泰 (東京新都心)
- 茨田 浩之 (東京紀尾井町) 池尾 彰彦 (東京紀尾井町)
- 森田 建二 (東京紀尾井町) 中村 ひろみ (東京紀尾井町)
- 坂田 生子 (東京紀尾井町) 佐藤 香織 (東京紀尾井町)
- 高橋 ゆき (東京紀尾井町) 渡邊 藍子 (東京紀尾井町)
- 人見 真吾 (東京江北) 松井 元 (東京江北)
- 比嘉 弘二 (浦添)

米山功労者・メジャードナー

- 47回 中野 正人 (東京池袋)
- 25回 伊野波 盛求 (那覇西)
- 21回 今井 宗陽 (東京紀尾井町)
- 18回 小原 武夫 (東京練馬西) 金田 康男 (東京紀尾井町)
- 16回 海老沼 孝二 (東京江北)
- 15回 新倉 康榮 (東京豊島東) 櫻井 権司 (東京武蔵野)
- 13回 須藤 仁 (東京麹町)
- 11回 秋本 光雄 (東京武蔵野中央)

米山功労者・マルチプル

- 8回 渡辺 法華 (東京城北) 伊藤 隆 (東京江北)
- 7回 志熊 昌宏 (東京後楽)
- 4回 嶋田 政典 (東京リバーサイド)
- 3回 山口 良人 (東京新宿) 鈴木 洋次 (東京新宿)
- 橋本 豊之 (東京東江戸川) 栗山 義広 (東京臨海西)
- 2回 戸部 昇 (東京後楽)

米山功労者

- 安藤 公秀 (東京) 松島 寛 (東京紀尾井町)
- 高橋 史郎 (東京江北) 長谷 正一 (東京江北)
- 追分 義郎 (東京江北) 鈴木 又右衛門 (東京江北)
- 佐々木 勇次 (東京臨海西) 豊村 良春 (那覇西)

2020年9月30日分まで 敬称略 順不同

会員数報告

2020年7月1日 クラブ数	70	RC
2020年7月1日 会員数	2,868	名
(内女性)	204	名
2020年9月30日 クラブ数	70	RC
2020年9月30日 会員数	2,915	名
(内女性)	205	名
2020-21 年度入会者	82	名
2020-21 年度退会者	35	名
2020-21 年度会員増減数	47	名

【哀悼】 謹んで哀悼の意を表します

東京池袋西ロータリークラブ

しらいし のりよし
白石 典義 会員

逝去日 2020年8月26日 満67歳
入会日 2018年10月1日
立教学院理事長
立教大学名誉教授
(元立教大学経営学部教授)



東京小石川ロータリークラブ

うちだ たけし
内田 猛 会員

逝去日 2020年9月22日 満80歳
入会日 1991年7月19日
㈱内田管理サービス 代表
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者マルチプル

